

脱プラドリンクバー

～ペットボトル削減でお得にSDGs～

田中 清水 尾崎 丸山

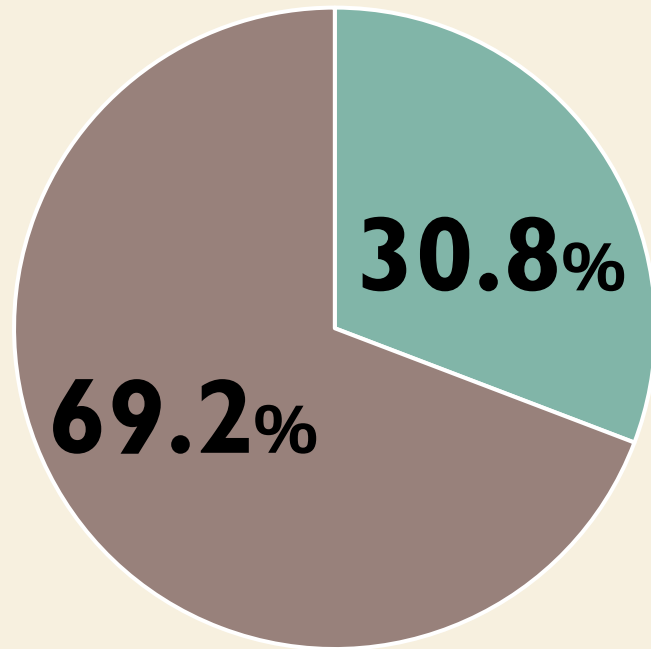
ビジョン

マイボトルの習慣化



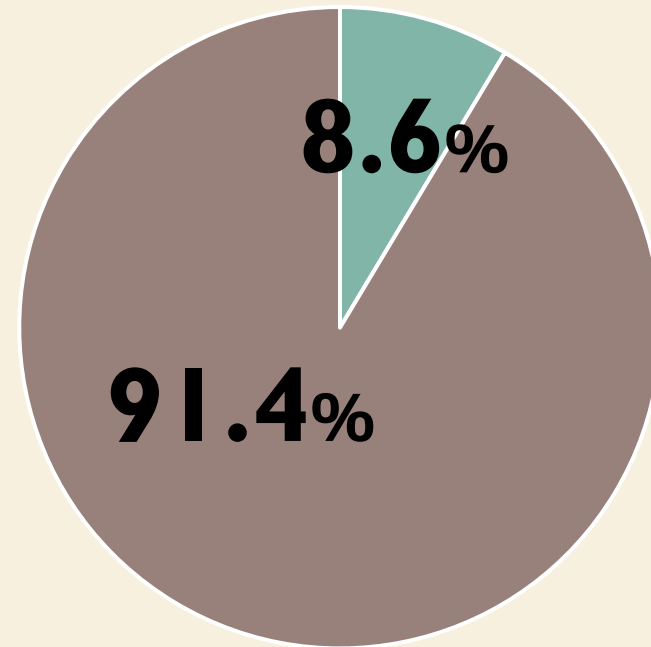
現状

マイボトル所持率



■ はい ■ いいえ

マイボトル使用率



■ はい ■ いいえ

現状

マイボトル持参は簡単なアクションだが、
行動に移している人は少ない



環境づくりが必要

提案

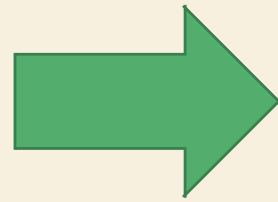
サブスクドリンクバー

1. ディispenserを学内に設置
2. サブスク月額制で提供
3. マイボトルを持参で利用可能

120万本削減へ



大学全体で取り組む



約**120**万本削減

ベネフィット



ドリンクバーを気軽に、お得に
楽しむことができる



ペットボトル削減

13.気候変動に具体的な対策を
14.海の豊かさを守ろう

ドリンクバーを
利用したいから
マイボトル持参



高い
モチベーションを
期待できる



アクションプランの内容



設置場所



フレーバー



価格設定



システム

機材・運営

- 設置費用
 - 機材費用
- 】 提供会社負担
- メンテナンス
 - 補充
- 】 得意先が管理
- 水道直結が理想



ディスペンサー

設置場所

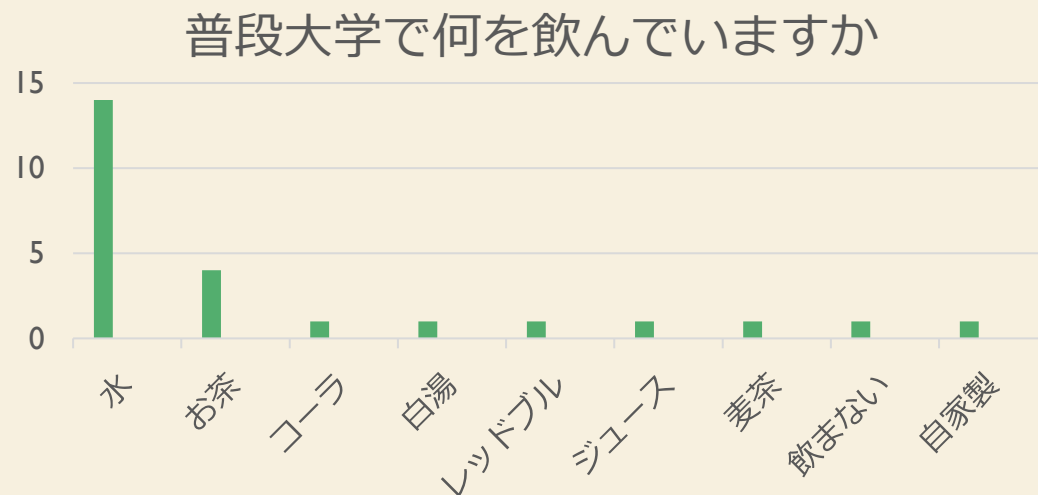
10号館 7階学生ラウンジ内
1号館 地下1階食堂

水道水と直結することのできる
食堂が最適
多くの学生が使いやすい場所



(撮影：10号館 7階学生ラウンジ)

フレーバーの種類



- お水
- コーラ
- ウーロン茶
- アイスティー
- オレンジジュース

- 炭酸力を調節できる
- プロテインを作れる
- 期間限定、フレーバーを期間ごとに変更

価格設定【月額700円】

50円/杯 (350ml)

週2回月8回

1日平均1.5回

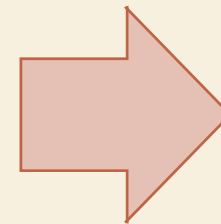
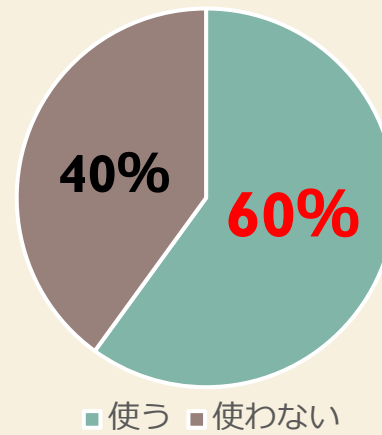
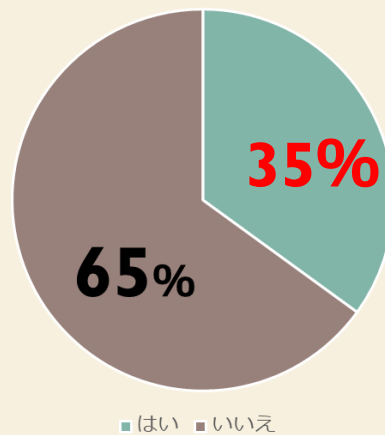
$50 \times 8 \times 1.5 = 600$ 円

+ 人件費

お得に利用することができる

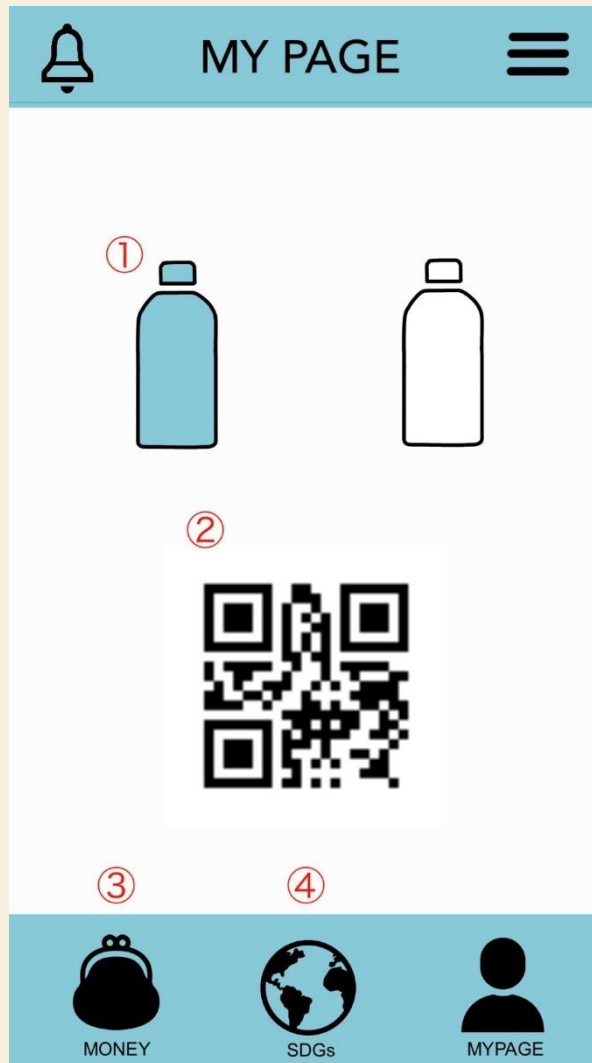
見込み利用者数

月額1000円で利用するか 月額500円～1000円で利用するか



35～50%

システム



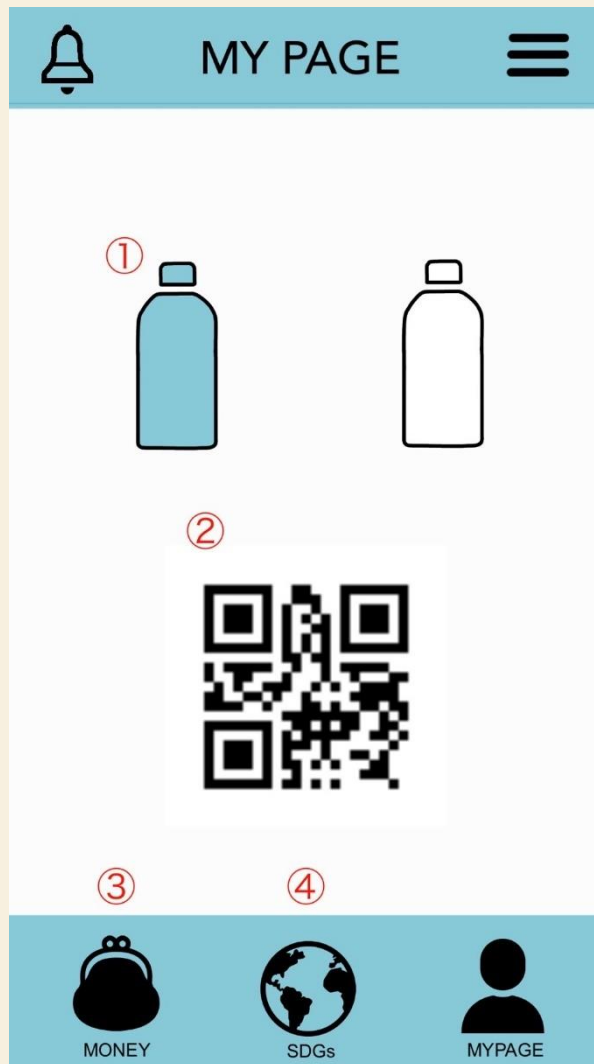
搭載機能

回数制限

QRコード

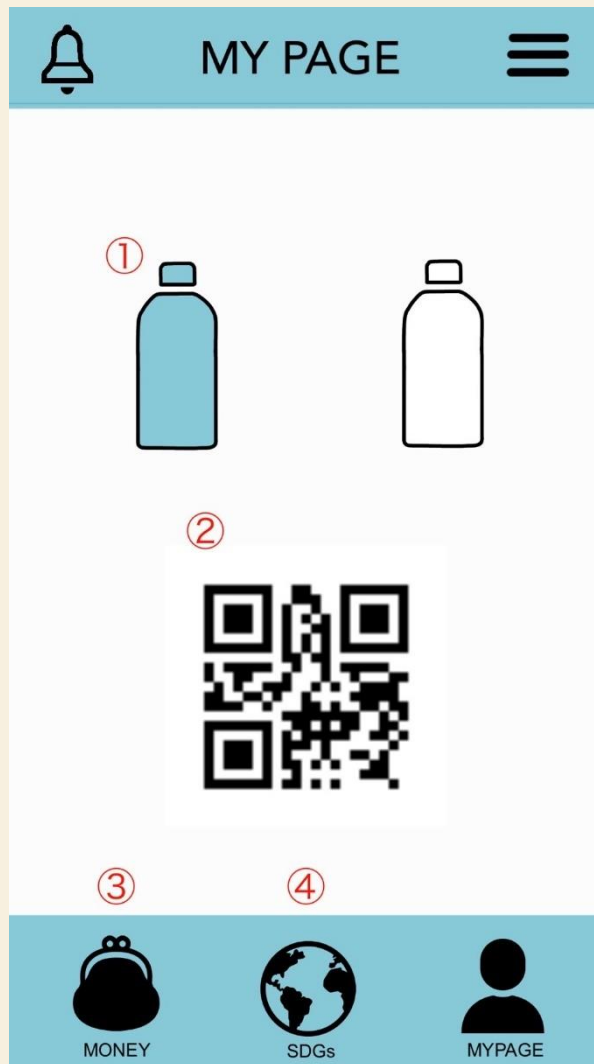
支払い

SDGs 貢献度



①回数制限

- 提供金額より1日2回の利用がのぞましい。
- 利用するとボトルが満杯になり、1日の回数制限を可視化する。

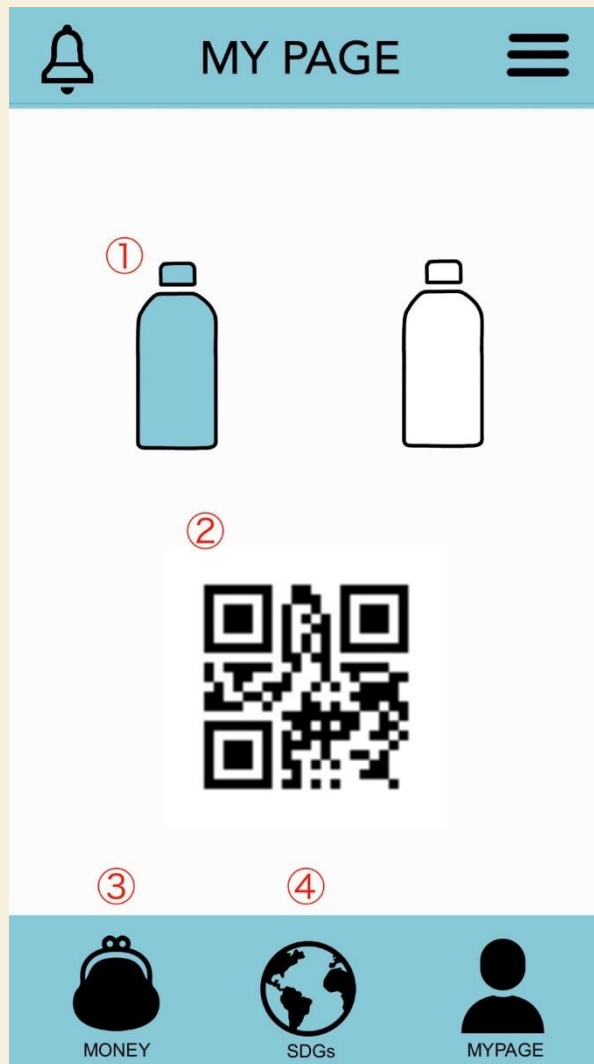


②QRコード

- 支払いを行った人のみが利用可能なので、個人の管理をQRコードで行う。支払いが済んでいる人のみが入場できる改札を設置する。

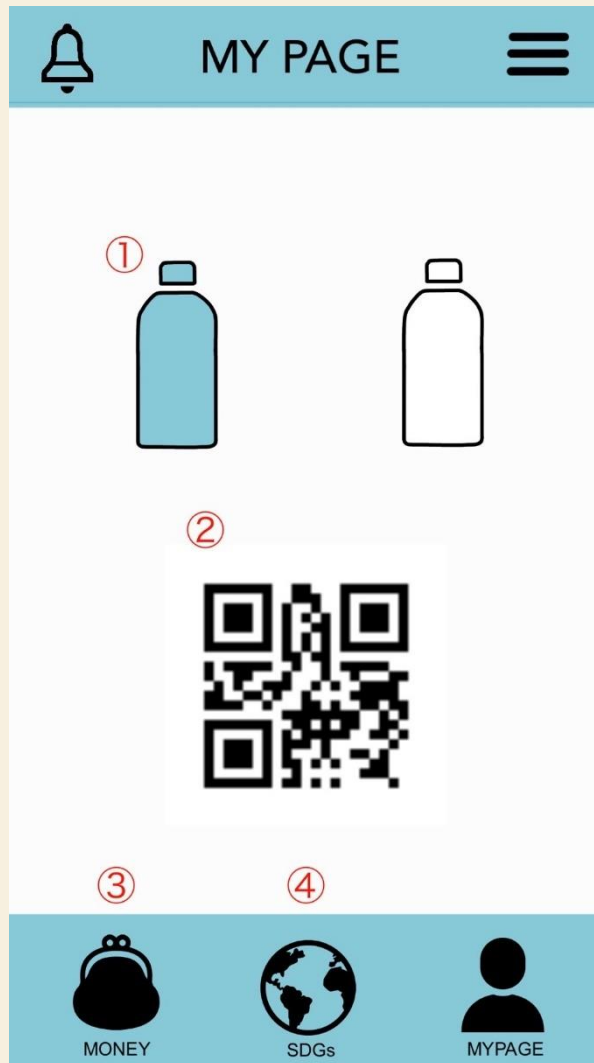


専修大学10号館Knowledge Baseの図書館入り口



③ 支払い

- 月額を支払いを、その他サブスクリプションサービスと同じような方法で可能にする。
- アプリならではのデジタルな支払い。



④SDGs貢献度

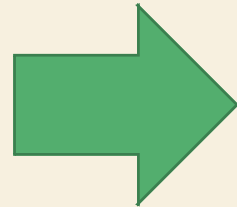
- ドリンクバーサービスを利用した回数を計測する。
- マイボトルを持ち歩いた結果、何本分のペットボトル削減され、どのくらい環境問題の改善に貢献したかを数値で表す。



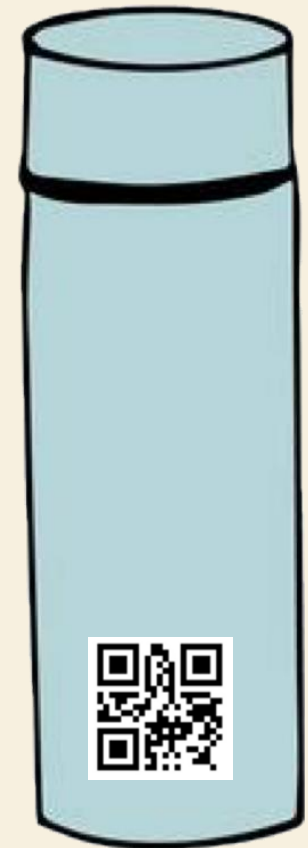
モチベーションアップ^o

代替案

アプリ開発の必要なし



QRコードをシール化
マイボトルに装着



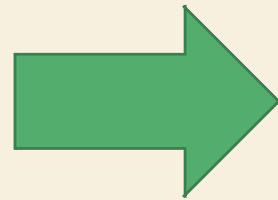
見込める効果

- 専修大学生徒数 約20000人
- 17%の学生が利用すると仮定
 ➡3400人
- 1年間 = 30週(平均週=2本) = 60本/人
- 60本×3400人 = **204000本**

120万本削減へ



大学全体で取り組む



約**120**万本削減

ソーシャルインパクト

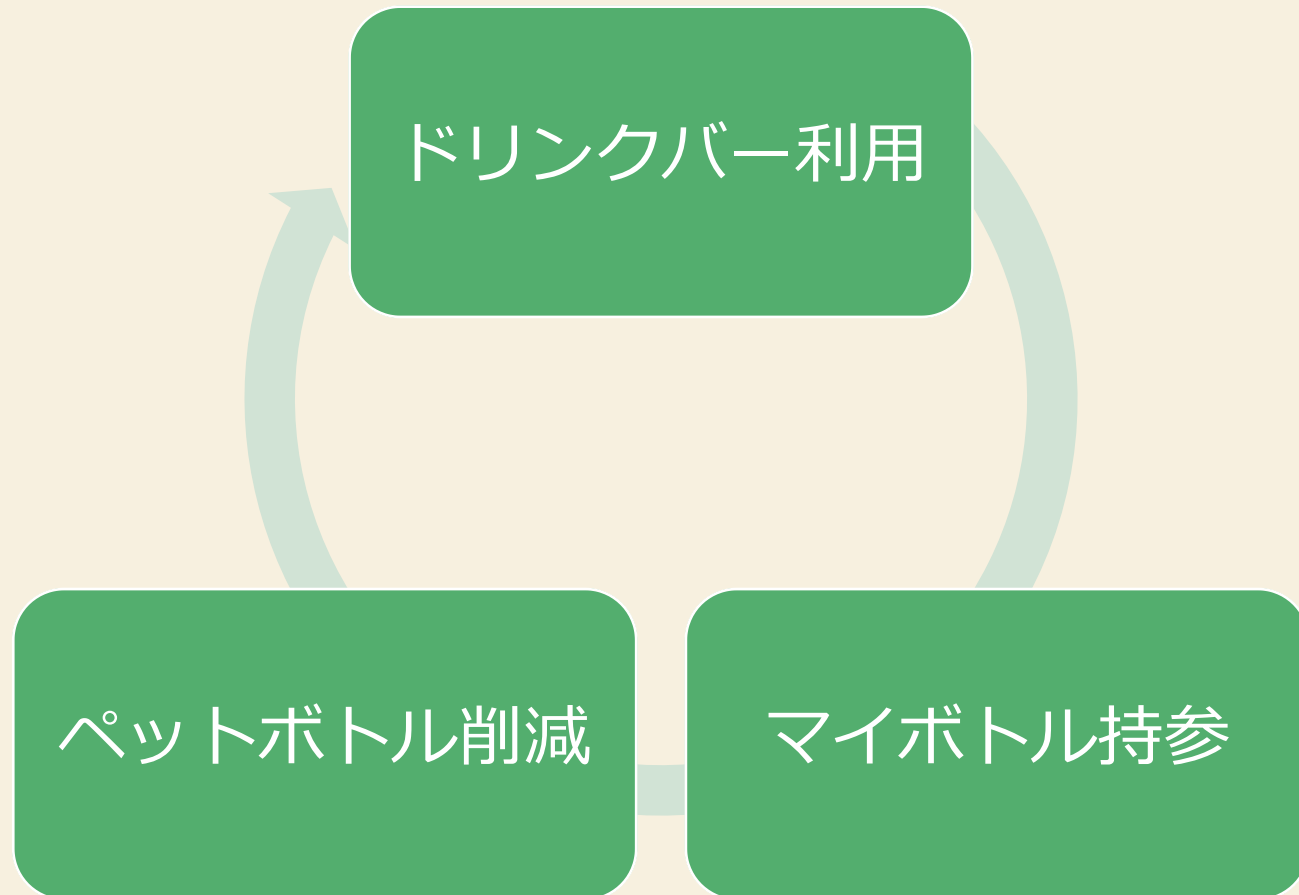
- 期待できる対象

1. 全国の様々な大学、専門学校
2. 会社のオフィス



- 導入することができれば、かなりのペットボトル削減につながる

まとめ



注釈・資料

Imacocollabo SDGs（持続可能な開発目標）17の目標&169ターゲット個別解説

(<https://imacocollabo.or.jp/about-sdgs/17goals/>)

環境省 COOL CHOICE 地球温暖化の現状

(<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/ondanka/>)

WWF 海洋プラスチック問題について

(<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3776.html>)